

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                          |
|---------|--------------------------|
| 事業所番号   | 4071601738               |
| 法人名     | 株式会社 さくら苑                |
| 事業所名    | グループホーム さくら苑 (ユニット名 1階 ) |
| 所在地     | 福岡県久留米市南1丁目17番1号         |
| 自己評価作成日 | 平成22年6月15日               |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://kohyo.fkk.jp/kaigosip/Top.do>

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 評価機関名 | 社団法人福岡県介護福祉士会              |
| 所在地   | 福岡市博多区博多駅中央街7-1シック博多駅前ビル5F |
| 訪問調査日 | 平成22年7月17日                 |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は久留米市内でも高齢化率の高い地域にあり、平成15年12月の開設より地域の中の認知症になってしまった方々の住む「いえ」として事業をおこなっている。ご利用者様が、地域に暮らす一人一人の住民として暮らしていけるよう支援しており、日頃の散歩・地域の夏祭りには毎年参加している。また7年目を迎える今日、開設当初よりご入居いただいている方々の状態も変化されてはいるが、同じ「いえ」に住む疑似家族として、また協力医の絶大なご協力のもとターミナル・お看取りまで行っている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

閑静な住宅地の中にあり、入口にかけてある小さな表札は周りの環境にとけこんでいる。代表者は、認知症等で介護が必要になっても医療機関や家族等と連携を取りながら、健やかに安心して暮らせる地域づくりを目指して、グループホームを運営している。代表者の温厚な人柄と熱い思いが、利用者及び職員の表情に反映されている。地域との絆と、一日おきに往診してくれる協力医療機関の存在が心強い。ホームが大切にしている「ゆっくり、楽しく、明るく、笑顔をモットーに」の言葉どおり、皆が集うリビングから笑い声が聞こえている。共に支えあいながら自然体で暮らしているホームである。

## Ⅴ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～57で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   | 項 目 |                                                                     | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   |
|-----|----------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 58  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:25,26,27)     | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 65  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,21)   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 59  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:20,38)           | ○                           | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 66  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,22)                     | ○                           | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 60  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:40)                 | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                           | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 61  | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:38,39)  | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員は、活き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                           | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 62  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:51)                | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 69  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 63  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:32,33)       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 70  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 64  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:30) | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |     |                                                                     |                             |                                                                   |

# 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

| 自己<br>外部   | 項目  | 自己評価                                                                                                                     | 外部評価                                                                                                       |                                                                                                                                                            |                                                                                             |
|------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
|            |     | 実践状況                                                                                                                     | 実践状況                                                                                                       | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                                                                                          |                                                                                             |
| I.理念に基づく運営 |     |                                                                                                                          |                                                                                                            |                                                                                                                                                            |                                                                                             |
| 1          | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                                                       | 当事業所の介護理念は、開設当初と変わらず地域の中のひとつの「いえ」として考え、毎朝の朝礼時には唱和、実践に向け努力している。                                             | ホーム開設時に代表者と全職員で一緒に考えた「私達は、暖かい家庭的な雰囲気の中で、ご利用者の尊厳を大切にしつつ、共に暮らしながら、心からのケアに努めます。ご家庭や地域との交流の中にも、安心と安らぎのあるホームを目指します。」という理念を掲げている。毎日の朝礼の場で唱和を行い、理念の共有と実践に取り組んでいる。 |                                                                                             |
| 2          | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                                                       | 気温には考慮しながら日常的に散歩を行い、また地域の夏祭りには毎年参加し、地域の一員として暮らしていけるよう支援している。                                               | 自治会へ加入している。地域の行事案内を受け、利用者と共に参加している。地域の一員としての出番や役割について、近隣の介護事業者と相談中である。高齢化率の高い地域であることを意識して、ホームにAEDの設置を検討中である。介護相談も随時受け付けている。                                |                                                                                             |
| 3          |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                                                     | 特設の相談時間を設けてはいないが、電話による相談・屋外へ出た際に気兼ねなく相談して頂き、応じており必要と感じた際には、事業所の紹介等行っている。                                   |                                                                                                                                                            |                                                                                             |
| 4          | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                  | 当グループホームの運営推進会議には、近隣の他事業所の方にも参加していただき、情報を共有すると共に意見を伺いサービスの向上に努めている。                                        | 複数の利用者・家族、自治会長、民生委員、消防本部、市役所、包括支援センター、他介護事業者等の参加を得て2か月毎に開催している。ヒヤリハット、検討事項の経過、外部評価の結果、事業所の現状報告等を行い、課題について意見や要望を得てサービスの質の向上に活かしている。                         |                                                                                             |
| 5          | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                                            | 市役所へ出向いた際には必ず担当者と面会し、情報提供を伺いまた、当グループホームの現状も伝えている。なお、研修会・勉強会の情報が入った際には、市役所へ連絡し市内の事業所へ市役所よりメールにて連絡していただいている。 | 市担当者のもとへ出向き、事業所の現状報告および情報交換を行い、サービスの充実に努めている。市主催の同業者研修会の場で困難事例の問題解決に向けて意見交換を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。                                                          |                                                                                             |
| 6          | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービスにおける禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 全ての職員が理解している訳ではない。なお、日中玄関の施錠をすることはないが、入居当初の現状を考慮の上安全上、各フロアーの入り口を施錠することはある。                                 | 日中、玄関は開錠されており、センサーで人の出入りを把握している。入居間もない利用者の安全確保の観点から1階、2階の出入り口に鍵をかける場合がある。この件については家族等とも相談し了解を得ている。2階ベランダに季節の野菜や花が植えられており、閉塞感や圧迫感はない。                        | 地域の方に見守り、声かけ、連絡等の協力依頼を働きかけておられるが、階の出入り口の鍵かけについて、利用者の安全を確保しながら鍵をかけない工夫の取り組みの検討をされてはいかがでしょうか。 |
| 7          |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                  | 外部の研修・勉強会に参加できるよう、案内板に掲示し、また各フロアー月1回のミーティングに於いて勉強会を行い、職員が意識しながら業務を行えるよう努めている。                              |                                                                                                                                                            |                                                                                             |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                                 | 自己評価                                                                                                         | 外部評価                                                                                                                     |                   |
|----|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                    | 実践状況                                                                                                         | 実践状況                                                                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  | (6)  | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している                                        | 以前には、日常生活自立支援事業・成年後見制度を利用されていた方もおられ、必要と感じられる方には制度に対する助言を行っている。                                               | 代表者、管理者等が研修会に参加し職員へ伝達研修を行い、この制度の理解に取り組んでいる。対応が必要と思われる家族等には意向を確認した上で情報の提供をしている。                                           |                   |
| 9  |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                                                             | 契約の締結に関しては、十分に納得していただいている。また改定等により変更が生じる場合には、文書にてご連絡し理解・納得を行っている。                                            |                                                                                                                          |                   |
| 10 | (7)  | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                                         | 年2回の家族会の資料には、市役所・国保連の電話番号を記載し意見・要望がある際には、ご連絡頂けるようにしている。また、ご要望をいただいた際には運営に反映している。                             | ホーム便りや家族会、家族等の訪問時に意見や要望が得られるよう働きかけている。運営推進会議に毎回、複数の利用者・家族が参加しており、意見や要望を得て運営に反映させている。介護相談員を受入れ、利用者や家族等が意見を外部に表せる機会を作っている。 |                   |
| 11 | (8)  | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                                                          | 毎朝の朝礼・月1回のミーティングには、職員に対し意見を求めた、常日頃より職員が代表者・管理者に意見や提案を申し出やすい環境づくりに努め、意見や提案について反映している。                         | 代表者及び管理者は日頃より、現場職員の声に真剣に耳を傾けてくれており、お互いに信頼関係が築かれている。利用者の受入れや、事業所の大切な決めごとについては職員に事前に相談があり、意見や要望が運営に反映されている。                |                   |
| 12 |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている                                          | 外部の研修・勉強会のチラシを掲示板に張り出し、職員の参加を促すと共に参加した職員に対して研修の記録を提出してもらい、評価につなげている。また年に2回、職員全員に自己評価を記入してもらい、向上心をもてるよう努めている。 |                                                                                                                          |                   |
| 13 | (9)  | ○人権の尊重<br>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮し生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保障されるよう配慮している | 性別や年齢等により採用対象から排除することはないが、やる気の有る無によっては、排除している。                                                               | 幅広い年齢層の男女職員が生き生きと勤務している。有給休暇や育児休暇等の福利厚生も充実している。また職員の都合による急な休暇や、職員の休憩時間の確保についても全員で話し合い、働きやすい職場環境が作られている。                  |                   |
| 14 | (10) | ○人権教育・啓発活動<br>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる                                                               | 「人権教育・啓発活動」と意識して取り組んではないが、常に入居者の人権を尊重し業務にあたるよう、話している。                                                        | 倫理研究所が発行している書物を利用して接遇、法令遵守等について、全職員に対して教育・啓発活動に取り組んでいる。                                                                  |                   |
| 15 |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実践と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている                                             | 外部の研修はもとより、ひと月に1回のミーティング時に勉強会を行い、個々の知識の向上に努めている。                                                             |                                                                                                                          |                   |

| 自己                          | 外部   | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                               | 外部評価                                                                                          |                   |
|-----------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                             |      |                                                                                                | 実践状況                                                                               | 実践状況                                                                                          | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16                          |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 当グループホームは、久留米市介護福祉サービス協議会に加盟し、グループホーム部会に於いて他の事業者との勉強会・研修会に参加し互いのサービスの向上に向け取り組んでいる。 |                                                                                               |                   |
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |                                                                                                |                                                                                    |                                                                                               |                   |
| 17                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 入居前に相談に来られた際によくお話を伺い入居前にご本人に必ずお会いするようにして思いや不安を良くお聞きし受け止めるようにしている                   |                                                                                               |                   |
| 18                          |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | 入居前の相談、入居時の面接時などご家族やご本人が話しやすい雰囲気づくりに努めお話を伺うように心掛けている                               |                                                                                               |                   |
| 19                          |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | 相談に来られる際や電話での相談の際に状況を良くお聞きし入居が相当か他のサービス利用や市への相談なども助言している                           |                                                                                               |                   |
| 20                          |      | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | スタッフが苑全体を1つの家族としてとらえ利用者とスタッフが共に暮らしていくことを介護理念にもあげ共通意識としている                          |                                                                                               |                   |
| 21                          |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | 面会や外出などで家族の絆を大切にしたいと、なるべく頻りに面会などでもご家族にお伝えし、情報を共有しながらご家族と苑が共にご本人を支えていけるように努めている     |                                                                                               |                   |
| 22                          | (11) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                               | 本人様が心的不安を抱えられる場合にはキーパーソンや馴染みの関係の方々に来苑して頂いたり電話をしていただいでして心の平安をはかっていただいている            | これまで交際のあった方への年賀状や文通の継続支援、馴染みの店への買物や外食、家族等の協力を得て墓参りや法事、行きつけの美容院へ行く、外出、外食等、継続的な交流ができるよう働きかけている。 |                   |
| 23                          |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                           | 利用者同士で話をしていただいたり一緒に思い出を作ることで共通意識を持って頂き支えあえるよう支援している                                |                                                                                               |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項 目                                                                                                    | 自己評価                                                                       | 外部評価                                                                                                                           |                   |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                    |      |                                                                                                        | 実践状況                                                                       | 実践状況                                                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 入院等で苑を離れられた場合でも見舞いなどにてご本人やご家族の意向を伺い相談や支援に努めている                             |                                                                                                                                |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                        |                                                                            |                                                                                                                                |                   |
| 25                                 | (12) | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | ご家族に書いていただいたこれまでの生活暦をスタッフが把握し、また、ご入居者様にも意向を伺い本人本意に検討している                   | 職員は、利用者や家族から思いや希望、生活歴等を聴き取っており、日常のケアの中でも利用者の意向を引き出せるような話題作りや提案を心がけている。困難な場合は利用者の表情や仕草から気持ちを汲み取る努力をしている。                        |                   |
| 26                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご家族からの生活歴や聞き取り、病院や施設からの情報を把握し、ご本人にとって安心のあるよりよい暮らしとなるように努めている               |                                                                                                                                |                   |
| 27                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | バイタルチェックや記録を行い、朝礼やミーティングでスタッフが情報を共有し現状の把握に努めている                            |                                                                                                                                |                   |
| 28                                 | (13) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護計画は基本的に3ヶ月に一度見直しを行い、月1回のミーティングにてモニタリングを行い計画に反映している。面会時にご家族にも意向などをお聞きしている | 介護計画は3ヶ月毎に見直しを行い、月に1度のミーティング時に利用者一人ひとりについてのケアを振り返り、ケアのあり方を確認している。家族の訪問時に説明を行い、意見等を聴き計画に反映させている。退院直後の利用者は状態を確認して介護計画を新たに作成している。 |                   |
| 29                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | お一人お一人の日々の様子を細かく記録している。そうすることでスタッフは現状を把握しスタッフ同士の連携もスムーズに行えている              |                                                                                                                                |                   |
| 30                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 病院受診の支援、他グループホームや、諸規模多機能施設との交流を行っている                                       |                                                                                                                                |                   |
| 31                                 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | 運営推進会議などで地域の方々や他事行所との交流を行っている。病院受診、歯科受診はホーム長の付き添いにて支援し、受診できない方には往診も利用している  |                                                                                                                                |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目                                                                                                                  | 自己評価                                                                                                                    | 外部評価                                                                                                                          |                   |
|----------------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                  |      |                                                                                                                     | 実践状況                                                                                                                    | 実践状況                                                                                                                          | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 32                               | (14) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                | かかりつけ医とは常に連絡をとり症状の変化などを報告し薬の変更などその都度行っている。病院への診察・往診・検査にはホーム長・スタッフが付き添い、結果についてはご家族に報告している。                               | 看取りを積極的に行っており協力病院が頻回に往診している為、本人家族の希望によりかかりつけ医をホーム協力病院に変更されることもある。受診は基本的に家族がおこない、依頼されればホームで支援を行っており、結果は家族、職員が共有している。           |                   |
| 33                               |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 申し送りノートやミーティングでご入居者様の情報や変化などを伝え看護師、介護士で1人1人に合ったケアを話し合い支援している。変化があったときはその都度スタッフ間で情報交換している。訪問看護を利用する際には日々の状態を伝えケアをお願いしている |                                                                                                                               |                   |
| 34                               |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入居者が入院された際には病院側の情報をご家族より得るようにしている。退院された時には対応できるように病院側より情報を得てスタッフ全員で対応できるようにしている                                         |                                                                                                                               |                   |
| 35                               | (15) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | これまでも終末期の方がおられたがご家族の希望など話し合い希望に添えるケアを行ってきた。これからも十分に話し合い希望に添えるケアを行って行きたい。かかりつけ医や訪問看護ともコミュニケーションをよくとり支援している               | 重度化やターミナルの際の指針を作成しており、利用開始時には本人・家族に説明を行っている。希望があれば家族、協力病院、訪問看護ステーションと連携を取りながら看取りを行う。家族が看取りのために泊まることが出来る体制作りをしている。             |                   |
| 36                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                              | マニュアルを作成しすぐに関覧できる場所に置いてすぐに対応できるようにしている。また、緊急連絡表をすぐ見える場所に貼っている                                                           |                                                                                                                               |                   |
| 37                               | (16) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                              | 年2回避難訓練を行いなるべく全スタッフ参加し避難の仕方消火器の使い方を身につけるようにしている。スプリンクラー・自動通報装置の方法も全スタッフができるようにしている。日頃より地域との交流を大切にしている                   | 年2回の避難訓練を行い1回は消防署立会いで避難誘導や初期消火等の訓練を利用者・職員で行っており、その際地域住民の参加も呼びかけている。火災の際の自動通報装置やスプリンクラーも今年度設置し、職員は使用方法を確認している。現在災害時の備蓄を検討している。 |                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |                                                                                                                     |                                                                                                                         |                                                                                                                               |                   |
| 38                               | (17) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                                                      | 一人ひとりに対し声かけも考えて行っている。排泄や更衣・入浴に関してもプライバシーを損ねない対応をしている                                                                    | 利用者への呼び名は本人・家族の了解を得て本人の望む呼び名にて声掛けしている。排泄や入浴時には利用者の自尊心を傷つけないように配慮している。職員は日常のケア場面や朝の申し送りの時お互いに注意し合うようにしている。写真の掲載は家族会で了解を得ている。   |                   |
| 39                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                                                        | 一人ひとりに飲み物を聞いたり服を選んだりしていただいている。焦らずゆっくりした雰囲気を選んでいただけるように心掛けている                                                            |                                                                                                                               |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                  | 自己評価                                                                                                   | 外部評価                                                                                                             |                   |
|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                     | 実践状況                                                                                                   | 実践状況                                                                                                             | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している    | 1日の流れは大まかに決まってはいるが、その方の希望にあわせて生活していただいている                                                              |                                                                                                                  |                   |
| 41 |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                     | 自分でできる方には身だしなみをしていたできない方にはスタッフがその方らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                           |                                                                                                                  |                   |
| 42 | (18) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている        | 四季折々に献立を考え、朝のレクリエーション時などに1日の献立を発表・掲示し、食事を楽めるようにしている。                                                   | 献立について、利用者の希望があれば食事やおやつに取り入れている。水分補給のための飲物は各利用者の好みのものを準備している。ホームで育てたトマトやゴーヤを使って調理することもある。配膳や皿洗いの役割を決めて利用者が行っている。 |                   |
| 43 |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている             | 水分摂取量が少ない方には1日の水分量を測定し食べた量も記入し把握に努めている。職員の声かけや工夫で食事でも水分も摂取していただくように努めている。食事以外にも水分摂取の時間を設け摂取していただいている   |                                                                                                                  |                   |
| 44 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                      | 毎食後に口腔ケアの声かけ、介助を行っている。個別の力に応じ、義歯のチェックや介助も行い口腔内を清潔に保っている。うがいのできない方には口腔スポンジも使用している。週一回義歯洗浄剤も使用している       |                                                                                                                  |                   |
| 45 | (19) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている      | 各入居者の排泄パターンを見つけるためにタイマーによりトイレ誘導を行い、オムツ類の使用を減らすように努め、排泄の自立に向けた支援を行っている                                  | 利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレで排泄できるように支援している。その効果があり紙パンツの減量と利用者の自信につながっている。                                            |                   |
| 46 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                      | 便秘の影響・原因は、ミーティングでスタッフ自身が勉強し飲食物の工夫は調理担当が考え、運動は散歩やリハビリを行っている。また、個々の予防として起床時に白湯・朝食後トイレ誘導、腹部マッサージ、服薬調整している |                                                                                                                  |                   |
| 47 | (20) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽めるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 希望やタイミングは伺っているが時間帯はスタッフが多い時間帯となっている                                                                    | その日の体調と希望を確認しながら可能な限り、利用者の望む時間帯で入浴してもらっている。入浴を拒む場合は無理強いはいしないが、清潔保持の観点から清拭や足浴を行いながら、入浴につながるような声掛けの工夫をしている。        |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                               | 自己評価                                                                                            | 外部評価                                                                                                          |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                                            | 実践状況                                                                                                          | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                                                    | 本人の希望で休めるように支援し、安心して気持ちよく眠れるように話したり又、水分補給などしていただいている                                            |                                                                                                               |                   |
| 49 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                                               | 薬の目的や、副作用・用法はスタッフ全員が把握できるように薬ファイルがありすぐ学べるようにしている。服薬後の症状変化には気をつけて確認し変化に対応できるようにしている              |                                                                                                               |                   |
| 50 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                                                  | 生活歴をご家族に記入していただき把握しなるべくその方の好きなこと、物ができるように心掛ける                                                   |                                                                                                               |                   |
| 51 | (21) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                      | 天候や気温をみてスタッフが声かけしご利用者様に希望を聞き散歩にお誘いしている。普段行けないところには季節に合わせてバスハイクや花見を行っている。又、ご家族の方が外出に連れて行かれることもある | 散歩を兼ねてスーパーマーケットやコンビニに出かけたり、馴染みのレストランに予約を入れて食事に出かけている。その日の天候や体調、思いに配慮しながら心身の活性につながるように、日常的に出かけるようにしている。        |                   |
| 52 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 入居者の半数ほどは介護度が高く理解不足である。時々近所まで買い物などに出かけご本人より選んでいただき、ご本人が支払われ買い物を楽しんでおられる                         |                                                                                                               |                   |
| 53 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 毎年年末には大切な方へ年賀状を書いていただき、宛に届く手紙や葉書などは居室の壁に貼りいつでも見れるようにしている電話はご本人の希望によりスタッフがかけている                  |                                                                                                               |                   |
| 54 | (22) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 車椅子利用の方にとっても広さ、安全面、照明など又、他の入居者にとっても寒暖の差をなくし、季節の花々を置くなどして心地よい生活を送れる様に工夫している                      | 共用空間は利用者が生活し易いように快適な環境づくりの工夫が随所に見られる。皆が集うリビングの外窓に季節の野菜が植えられており、グリーンカーテンの役目をしている。無駄な装飾が無く、ゆっくりと落ち着け生活感と安心感がある。 |                   |
| 55 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | スタッフは入居者のそばにより添い一緒に話したりリビング内の椅子だけでなくソファを利用し入居者がいつでも座っていたけるよう工夫している                              |                                                                                                               |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                    | 自己評価                                                               | 外部評価                                                                                             |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                        | 実践状況                                                               | 実践状況                                                                                             | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 56 | (23) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご自宅で使い慣れた家具や小物などご家族より持って来て頂き心地よく過ごせるように工夫している。入居時に畳やベットの希望をお聞きしている | それぞれの居室には使い慣れた家具や仏壇などが持ち込まれており、その配置は利用者、家族が相談して決めている。居室には家族と共に写った写真や馴染みの道具がたくさん置かれ温かな空間を醸し出している。 |                   |
| 57 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 廊下・浴室・トイレに手すりを設置し安全を確保している。又、手すりを使い個別リハビリを行い自立した生活を促している           |                                                                                                  |                   |